

中山台地区教育環境適正化事業「学校規模適正化校舎改修設計業務委託」

管理部 学事課

1 中山台地区教育環境適正化事業

(1) 事業概要、事業スキーム

①目的

現在は、適正規模の範囲にあるものの、将来的には小規模化が進行する中山桜台小学校（平成30年(2018年)5月1日時点、児童数424人）と既に児童数が120人を下回っている中山五月台小学校（同時点、児童数114人）を統合することにより、学校規模の適正化を図る。

②統合後に使用する学校

両校の立地及び通学距離等の教育環境の観点から、中山桜台小学校の学校施設を使用する。

③統合計画の目標年度

統合の目標年度を平成33年(2021年)4月1日とする。

④事業（計画）の進め方

ア 協働による取組

統合計画を進めるに当たり、引き続き学校・保護者・まちづくり協議会・行政が連携し、協議調整を図るとともに、適宜、保護者や地域に進捗状況を周知するなど、保護者や地域の理解を得ながら進めることとする。

イ 学校統合準備会の設置

学校統合を円滑に進めるため、中山台地区教育環境適正化検討委員会内に学校統合準備会（総務部会、教務部会、事務部会、地域・PTA部会、児童育成会部会、その他必要と認める部会）を設置し、必要な準備、検討及び調整を図ることとする。

⑤学校統合までのスケジュール

項目	2019年度	2020年度	2021年度
改修工事	設計業務委託	改修工事	統合
学校統合準備会	学校統合準備会及び各部会協議		

中山台地区教育環境適正化事業「学校規模適正化校舎改修設計業務委託」

管理部 学事課

2 今後の市全体の学校園統廃合計画及び学校の通学区域のあり方の方針

(1) 市立小学校・中学校

平成 28 年(2016 年)3 月に策定した「宝塚市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」では、全市的な教育環境の整備について、同じ小学校から同じ中学校へ進学するよう校区を編成する必要があるとあり、過大規模校や小規模校の解消を図る中で取組を進めるとともに、長期的な視点に立った教育環境の整備について教育環境審議会へ諮問するなど、具体的な検討に取り組むこととしている。

そのため、まずは、中山台地区の教育環境の整備を優先し、併せて、小中学校間の校区の整合について検討を進めることとする。

(2) 市立幼稚園

平成 29 年(2017 年)6 月に策定した「宝塚市立幼稚園統廃合計画」に基づき、現行の 12 園から 5 園を閉園し、7 園とする。

良元幼稚園と中山五月台幼稚園を 2020 年度末で閉園し、長尾南幼稚園を 2022 年度末に閉園する。

残る 2 園は、適正配置に配慮しつつ、2021 年度以降、4 歳児が 2 年連続で 30 人を下回った場合、翌年度の園児募集を停止し、在園児の卒園後に閉園する。

3 学校規模適正化校舎改修設計業務委託

(1) 委託業務の概要

統合後は、中山桜台小学校の学校施設を使用するが、当該小学校はこれまでの間、児童数の減少に伴い、普通教室を特別教室などに改修するなど、他の用途の仕様に変更されている。

そのため、特別教室を普通教室に戻すことに加え、必要な施設整備を行うこととしており、その実施設計図書の作成と概算工事費の積算などの業務を委託する。

(2) 改修工事概要（中山桜台小学校）

北館の特別教室を普通教室へ改修

特別支援学級使用教室の改修。その他、必要な施設改修

(3) 予算額

4,000,000 円